

真中地区に堆肥生産施設が完成

真中地区のカントリーエレベーターの隣接地に堆肥生産施設が完成しました。

最近では農業の機械化の進展が著しく、家畜の減少、農家の兼業化などにより堆肥生産が減退し、稲わらの水田還元、堆肥施用が軽視され、年々農耕地の地力が低下しています。一方養鶏農家では鶏糞の処理にこまり、原野に埋没していることから畜産公害の発生も心配されている現状です。

この施設は、こうした現状に対処し、真中地区の養鶏農家に組織している堆肥組合が主体となり、市及び農協など関係機関の指導のもと、農業構造改善事業の一環として建設されたものです。

総事業費は3,700万円(国50%県10%の補助、農業近代化資金借入32%、自己資金8%)で、堆肥舎1棟

堆肥盤1基を建設、さらにはショベルローダーや稲わら集収機などの機械類も購入され、堆肥生産に着手しています。

堆肥の生産には、真中の各地区の稲作生産組合の協力のもと、排出される鶏ふんそれに稲わら、さらにはカントリーエレベーターからのモミガラを利用して、年間約2,800tが生産されます。ここで生産された完熟堆肥は地区内の水田畑に還元されることになっており、地区の地力の増強はもちろんのこと、鶏糞の



完成した堆肥施設、右が堆肥盤、左が堆肥舎

不完全処理による悪臭公害、さらには稲わらの焼却によるスモッグ公害の解消にもつながるものと期待されています。

全国スキー距離大会 1月3日に当市で開催

初の全国夜間スキー距離競技大会が来年1月3日に当市で開催される見込みです。この大会は、全日本スキー連盟の公認と市及び大館市体協等の後援により、大館スキークラブが主催するものです。

競技種目はオリンピックの重点種目である10kmで、参加者は全日本スキー連盟登録者に限られています。

この全国大会は今後も継続して毎年開催する計画になっており、第1回目である本大会へ、市民の皆さんの声援と協力が望まれています。

レンジャー隊の 訓練塔が完成

広域消防本部に建設中の「訓練塔」が完成しました。

この訓練塔は、高層建築物の火災時に救助などに活躍するレンジャー部隊の訓練のために設置されたもので、高さが14m、幅2・5mの鉄製の塔です。

同本部の計画では、今年は署員10名でレンジャー部隊を組織して本格的な訓練を開始し、隊員は年々増員していく予定となっています。



広域消防本部前に完成した「訓練塔」

除雪対策



12月に入りいよいよ雪との戦いの季節になります。

市では早くから豪雪に備え、国、県とも緊密な連絡をとり、市民の皆さんの生活に支障のないよう全力をあげることにしてあります。

その対策としては、国道7号線は建設省大館出張所、国道103号線及び管内県道は北秋田土木事務所、県道のうち大館・花輪線(別所線)と米代川北線及び市道については市が行うことに決めました。

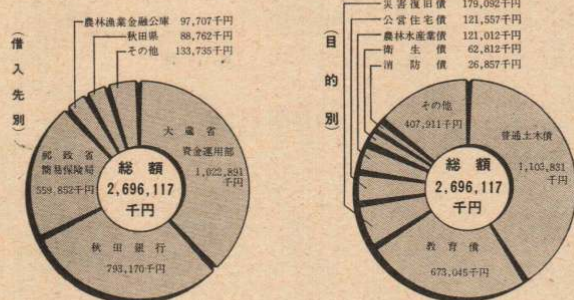
市道の除雪計画としては、市の除雪レーダーなど5台のほか、市内の業者の除雪車が担当し、除雪に万全を期すことにしてあります。なお、つぎのことについて市民の皆さんのご協力をお願いします。

- ◆除排雪の場合道路を一時しや断することがありますので協力願います。
- ◆作業上、沿線の耕地や冬期の閑地へ排雪せざるを得ない事態が生ずることがありますので協力願います。
- ◆道路に宅地等から雪は絶対に出さないようにしてください。これが原因でワダチが生じ交通確保に支障をきたします。
- ◆道路は機械で除雪しますので家屋の入口をふさぐ場合もありますが、これについては、各家庭において処理されるようお願いします。
- ◆自動車、リヤカー等を路上駐車しますと除雪作業ができませんので昼夜を問わず絶対にやめてください。

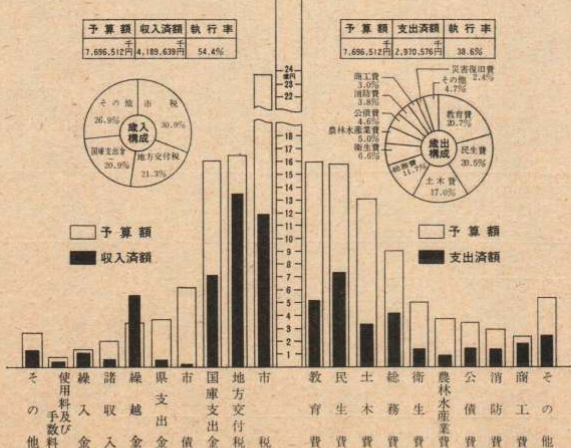
52年度収支状況

昭和52年度の一般会計の上半期(9月30日現在)の収支状況は、歳入歳出の予算総額76億9,651万2千円に対して歳入が41億8,963万9千円の執行率(執行率54・4%)になっています。歳入の執行率は29億7,057万6千円で38・6%の執行率を示し、歳入歳出とも順調な収支状況の中で諸事業がすすめられています。また、特別会計についても歳入が36・5%、歳出が35・1%と順調な収支状況が続いています。

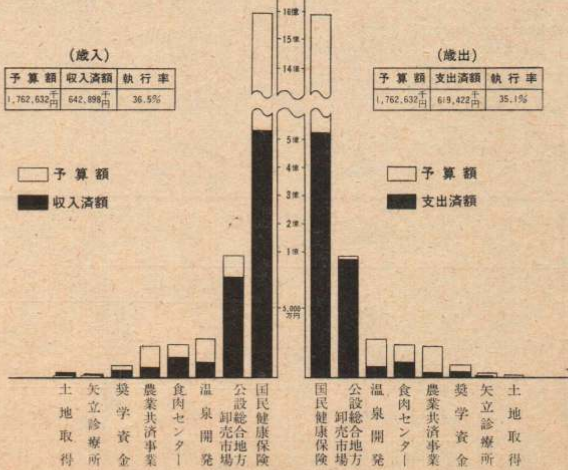
<借入先別、目的別現償高> (昭和52年9月30日現在)



<昭和52年度一般会計9月末収支状況>



<昭和52年度特別会計9月末収支状況>



毎月25日は国税相談日 時間・午前10時〜午後4時

市民の皆さんが、常日頃深い関心を寄せられている市の財政が現在どのような状態にあるかを知っていただくため、毎年二回財政事情の公表を行っております。

財政事情の公表